



きたそらち

2024
3月号
No.276

～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



今年も金融共済多度志支所に赤鬼・青鬼がやってきました！
2月2日、「たどし認定こども園かぜっこ」の園児が豆まきを楽しみました♪
→記事の詳細は3ページ

JAきたそらちでは、ホームページ/Facebook/
Instagram/YouTubeで、魅力満載の情報を
発信中です！ぜひ、ご覧ください！



ホームページ



YouTube



Facebook



Instagram

JA.KITASORACHI

目次

- 新規就農者2名へ深川市より支援金を交付・・・7
- 大豆から豆腐に！一己小学校6年生が豆腐作り・・・10
- 令和6年度 営農組合長・・・・・・・・・・・・・11
- 営業時間変更のお知らせ・・・・・・・・・・・・・12

冬の一大イベント！ふかがわ冰雪まつり

～青年部深川支部が出店～



青年部
だより

2月3日と4日の2日間、深川市花園公園にて「第53回ふかがわ冰雪まつり」が行われた。旭川陸上自衛隊による大雪像の制作は、新型コロナウイルスの影響もあり4年ぶりに行われ、今年はメインステージに深川米PRキャラクター「こめっち」がデザインされた。

同イベントでは、市内飲食店による屋台やキッチンカーが集まった「深川グルメフェスティバル」も開催され多くの来場客が深川の美味しい料理に舌鼓を打った。

JAきたそらち青年部深川支部（大井研太支部長）も同フェスティバルに参加し、深川米のすくい取りとおしるこの販売を行った。同ブースにも大勢の来場客が訪れ、用意した「ふっくりんこ」120kg、おしるこ322杯も4日の15時ごろには完売するほど好評だった。

また、氷像、市民団体による雪像やもちまき、GATTY氏によるマジック&イリュージョンショーなど盛りだくさんのイベントの中、最終日にはメインステージにてJAきたそらち青年部深川支部と深川青年会議所による豪華景品が当たる「ジャンボビンゴ大会」が行われ会場を沸かせた。

来場客は「4年ぶりに大雪像が見られるということで心待ちにしていた。雪像だけでなくグルメやショーなども充実していて、大人も子供も楽しむことができました！」と笑顔で話す。



JAきたそらち青年部

スノーメッセージ制作『Advance Go!』



YouTubeはこちら！

2月14日、JAきたそらち青年部（宮田雅大部長）が、当JA本所駐車場に「スノーメッセージ」を制作した。

「スノーメッセージ」は、青年部活動の一環として毎年、農業者の思いを消費者にPRすることを目的に制作している。

今回は、各支部より16名の部員が参加。それぞれ持ち寄ったスコップと9色のスプレー（赤、



ピンク、オレンジ、黄色、黄緑、緑、青、紫、黒）を使い、高さ約3m、幅約10mの雪山に描いた。

当日は気温が高く雪が解けて足元が悪い中、部員それぞれが声を掛け合い、ときに談笑しながら制作を楽しんでいた。

「スノーメッセージ」制作を担当した同部常任理事（農政部会長）の花岡恵佑氏は、「最近、地震や自然災害など暗い話題が多い。農業についても昨年は米の品質があまり良くなかったこともあり、今年は「前向きに進んでいこう」という想いを込めて『Advance Go!』というメッセージに決めた」と笑顔で語った。

Instagram・Facebookでもご紹介！

多度志に赤鬼と青鬼登場！！ ～子どもたちが豆まき～

金融
共済部

2月2日、「たどし認定こども園かぜっこ」の園児9人が当JA金融共済多度志支所を訪れ、毎年恒例となっている節分の豆まきを行った。

今年も当JA職員2名が『赤鬼』と『青鬼』に扮して子どもたちを出迎えた。はじめは恐る恐る遠くから豆を投げていた園児たちも、徐々に鬼と打ち解け全力で豆まきを楽しんだ。

豆まき後は、子どもたちにお菓子の詰め合わせをプレゼントし、最後に子どもたちと鬼で仲良く記念撮影を行った。（表紙写真）

参加した子どもたちは「赤鬼さん、その服で寒くないの？」「全然怖くなかったよ！お菓子ありがとう！」と笑顔で鬼と交流した。



「ゆめぴりか」生産組合 通常総会

販売部

1月23日、深川市の日の出会館で「ゆめぴりか」生産組合（神尾誠組合長）が第12回通常総会を開催した。

開会にあたり神尾組合長は、「昨年は皆様の努力が数字に表れず悔しい一年となった。青年部や生産組合でお米のPR販売をする際は、地元のお米と共に『ゆめぴりか』『八十九』を消費者の方々の理解を得られるようPRして頂きたい。今まで以上に『ゆめぴりか』のブランド力を掲げられるように生産者・生産組合一丸となって頑張っていきたい」と挨拶した。

議事では、令和5年度の事業・決算報告、令和6年度の事業計画等が原案通り承認された。

総会に続いて、販売部の島倉恵一考査役が「令和5年の高温が北空知の水稲作柄に及ぼした影響と今後の対策について」と題した研修会を開催し、胴割粒・白未熟粒の増加、低タンパク米率の減少について発生原因と共に高温障害の対策を再確認した。

また、令和5年度の「ゆめぴりかコンテスト」で最高金賞を受賞したJAようてい（蘭越地区）と当JAの「ゆめぴりか」の食べ比べも行われ、出席者は食味について意見交換した。





ふかがわまい生産組合

香港「百農社」へ訪問

販売部



1月29日、当JAの輸出版売先である「百農社（西田宗生代表）」（香港）にふかがわまい生産組合の役員、ホクレンや関連会社、当JA役職員の総勢10名が同社の見学と新しい品種の提案を行うため訪問した。

「百農社」は香港を中心に約145店舗を展開するおむすびチェーン店。当JAが取り組む令和5年産輸出用米約2,000tの内、「ふっくりんこ」約350tを契約頂いている。



当日、会社の概要や西田代表の『百年先の“農”を創る』を理念として日本産米のみを使用した「おむすび」を販売をしていることなどの説明を聞き、その後、事務所内にある商品開発のためのオープンキッチンや実際に店舗で使用されている陳列棚を紹介頂いた。続いて「おむすび」工場の見学を行い、香港でもトップレベルの徹底された衛生管理のもと「おむすび」が製造されていることを説明頂いた。

おむすび1個あたり18～38香港ドル（日本円で360円から760円）と値段は高めだが、お客様のニーズに即対応し飽きさせないよう、オープンキッチンで日々商品開発を行っており1日約10万個、1店舗で多い日には3,000個も売れている。

西田代表は「香港での『おむすび』は、日本でいうファストフードのハンバーガー的な位置づけであり、親日家が多い香港では『日本食＝体に良い物』と捉えている人が多く、現在香港の生活には『おむすび』が浸透している」と話す。

また今回「ふっくりんこ」に加え、新しい品種の提案という事で直播面積の拡大からJAでの取り扱い数量が増えている「えみまる」と、きらら397の後継品種として生産拡大の準備を進めている「そらきらり（空育195号）」を同社の社員の方々に試食頂いた。社員からは「“ふっくりんこ”に近いのは“そらきらり”だね」「えみまるは粒がしっかりしていて、炊き込みご飯に向いている」「そらきらりはおむすびに向いている」など、活発な意見があり「おむすび」への情熱は西田代表より社員へ受け継がれている事が伺えた。

ふかがわまい生産組合の伊藤裕美組合長は「あの衛生管理の徹底に負けない、安全な米作りを行っていかなくてはならない。おむすびの美味しさにも感動した。今後一層、安心して安全な美味しい米づくりを行っていきたい」と話した。

【販売部 高木】



「出会いが人生の種まき」今年もフル稼働で受け入れ 第23回元気村・夢の農村塾 総会

都市部の中・高校生を対象に農業体験型の修学旅行の受け入れを行う「元気村・夢の農村塾（村上はるみ塾長）」が2月9日、音江町のアグリ工房まあぶで総会を開催し約30名が参加した。

開会にあたり村上塾長は「コロナ禍が明けて農業体験も以前のように宿泊を伴うスタイルで再開した。また平成29年から受け入れを行っている台湾の高校の校長先生の視察や教育旅行の受け入れも再開したため、今年度はフル稼働で頑張ったと思う。また、11月には台湾視察研修を行い会員8名と台湾の高校の見学や校長先生との交流ができた。元気村・夢の農村塾は『出会いが人生の種まき』をモットーに活動している。農業農村体験は私たちの人生も、来てくれる子どもたちの人生も豊かにしてくれる、ひいてはこの地域も豊かにするものだ」と信じて今後も活動していきます」と挨拶した。

議事では、令和5年度の活動・決算報告、令和6年度の活動計画等が原案通り承認された。計画の中では、SNSを活用した積極的なPR活動の他に新たに同塾のホームページを作成することを報告した。

また、北海道開発局主催の「わが村は美しくー北海道」運動コンクールで優秀賞に輝いたことも報告し村上塾長は「多くの先輩方から受け継いだ私たちの活動が評価され、とてもうれしく思っている」と話した。

続いて行われた「台湾研修報告会」では、11月に訪問した台湾の視察研修を振り返り台湾からの訪日教育旅行誘致について深川市商工労働観光課の増田康介氏が説明を行い、続けて会員の小松由美さん（北竜地区）・桑野佳子さん（音江地区）が研修報告を行った。

同塾の令和5年度に受け入れた学校数は13校、令和6年度は11校を受け入れる予定。

なお、新役員は下記の通り。

役 職	氏 名	支 部
塾 長	村上はるみ	メ ム
事務局長	渡邊 滋典	音 江
会 計	橋向 美月	妹背牛
監 事	小松 由美	北 竜
監 事	鶴山八千子	沼 田



JAきたそらち女性部 管内保育園へ手縫い雑巾を贈呈

地域貢献活動の一環として、JAきたそらち女性部員が一枚ずつ仕上げた雑巾298枚をJA管内11校の保育園へ寄贈した。

女性部員達が「子供達が楽しく掃除が出来るように」とカラフルな糸で縫った雑巾は、園児達が足腰を鍛えるために机や床を拭く作業などにも使われる。

各保育園から「雑巾はとても助かります。大切に活用します」と大変喜ばれた。



わかば認定こども園



認定こども園あけぼの保育園



北光保育園



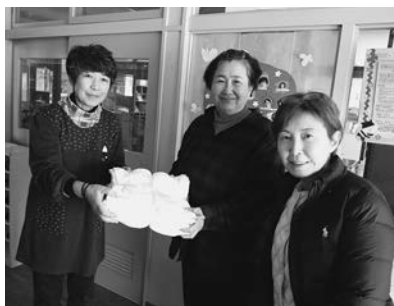
新中央保育園



深川西町保育園さくらんぼ



音江中央保育園



納内保育園



たどし認定こども園かぜっこ



雨竜町保育園



やわら保育園



双葉保育園

新規就農者2名へ深川市より支援金を交付



今年から深川市で新規就農した末松崇洋さんと藤田太郎さんに、「就農支援資金助成金」が同市から交付された。

1月29日、交付式が市役所市長室で行われ、田中昌幸市長が「交付対象の2名はそれぞれ農業分野を学問的に精通していると聞いている。新規就農は市農業にとっても価値のあるもの。あらゆる関係機関を頼っていただきながら、街づくりの担い手として頑張ってください」と激励した。

交付を受けた末松さんは「色々な方に就農に向けた学びの機会をいただけたので、その恩を返していきたい。まずは自身の経営を安定させ、ゆくゆくは農業の担い手育成に貢献したい」と話し、藤田さんは「1日でも早く自立した経営を確立し、胡瓜部会の中心となり産地の発展に貢献したい」と話した。

末松さんは一般企業に勤めた後、令和4年3月から深川市音江地区の（株）ファームSINでキュウリ栽培などの農業研修を経て、今年メム地区で就農。6棟のハウスでキュウリの栽培を始める予定。

藤田さんは、一般企業に勤めた後、平成31年4月から（株）深川未来ファームの社員として農業研修を経験。令和4年4月から矢橋和彦氏（音江地区）のもとでキュウリ栽培などの研修を行い、今年同所で第三者継承により就農した。

この助成制度は、農業の担い手を確保する目的で2003年に始まり今回11人目の交付となった。



**農業
振興部**

“災害に備え新たな一歩“

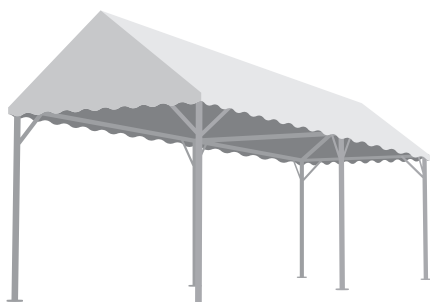
防災テント導入で組合員の安全確保

当JAは、近年多発している自然災害に備え、地域の安全を守ることを目的に『災害発生時用テント』を導入した。

この災害用テントは持ち運びが簡単かつ、迅速に設営をすることができ、避難所や現地での災害救助活動が求められる緊急時には、現場での待機所に使用されるなど、重要な役割を果たすこととなる。

自然災害は当JA管内も例外なく発生する可能性があることを改めて想定し、今回「JA共済 地域・農業活性化促進助成金制度」を活用して災害発生時用テント導入に至った。

当JAは組合員・地域住民の安全と生活の確保に向けて災害用テントを備え、農業振興と地域社会への貢献活動を実践していく。



深川市農業対策協議会 総会

農業
振興部

農業フォーラム2024・

クリーンライスふかがわ生産販売拡大委員会 共励会表彰

1月29日、ラ・カンパニョホテル深川にて、農業関係団体で組織する深川市農業対策協議会（遠藤良明本部長）の定期総会が開催され、関係機関など約60名が参加した。

開会にあたり遠藤本部長は、「コロナの影響で外食産業が大きな打撃を受け、米の在庫も山積みとなり生産現場としては厳しい3年間となった。昨年5類に引き下げられたことでようやく人々が動き出し、米の在庫も少しずつ消化されてきた。今後いよいよ消費者から「美味しいお米」を求められる時が来る。米どころ深川として『安定的に美味しい米を提供する』という責任を果たす義務があると思っている。みんなで農地を守り抜き、良い食料を全国・世界へ提供するという食料基地としての責任を果たして参りたい。今年は収量も品質も良いものを穫って出来秋を迎えられれば」と挨拶した。

議事の前に、「クリーンライスふかがわ生産販売拡大委員会」の共励会表彰が行われ、生産者8名に賞状と記念品が授与された。

続いて、深川市農民協議会主催の「農業フォーラム2024」が開催され、同市内の農業関係者約120名が参加した。「空知農業の現状・課題・解決策」と題し、(株)齊藤ファーム（栗山町）齊藤義崇代表取締役による基調講演が行われ、「空知も急速な人口減で多くの産業が失われ、農業においても生産された農産物を都市圏へと運ぶ物流コストが嵩み経営を圧迫している。しかし、空知には縦に長い鉄道や高速道など『都市圏へとつなぐ交通の大動脈』があることが強みとして残っている。空知の基幹農業が大事であるならば、大動脈の有利性を活かし10市14町のオール空知で農産物物流網をまとめれば持続可能な農業経営の勝機はある。また、地域を担って役割を果たなければ田舎は存続しない。すなわち、農事組合や自治体を守ることが大事であり、次の世代にさまざまな課題に向き合い戦っていける人材育成が必要である」と伝えた。

〈共励会表彰 受賞生産者〉

【ななつぼしの部】

最優秀賞 馬場 章次さん（音江地区）

優秀賞 宮田 勤さん（メム地区）

【ふっくりんこの部】

最優秀賞 栗野 良寛さん（音江地区）

優秀賞 松田 学さん（多度志地区）

【ゆめぴりかの部】

最優秀賞 村上 利行さん（メム地区）

優秀賞 (株)ファームカゲチカ
(音江地区)

【きらら397の部】

最優秀賞 安居 博知さん（音江地区）

優秀賞 柏木 孝文さん（メム地区）



深川市農業対策協議会総会



農業フォーラム2024

女性大学・女性農業者スキルアップセミナー 「きたそらちを元気に ～女性による食と農の地域づくり」

農業
振興部

2月2日、女性大学カレッジあみていへの3期生第12講ならびに女性農業者スキルアップセミナーとして講演会が開催され、女性大学3期生および卒業生あわせて17名、女性農業者スキルアップセミナー9名が参加した。

同講演会は農都共生研究会の代表を務める林美香子氏を講師に迎えて行われ、「きたそらちを元気に～女性による食と農の地域づくり」と題し、農都共生による地域づくりの重要性と、都市と農村をつなぐ「農村コミュニティビジネス」について講演頂いた。

農都共生とは農村と都市の共生のことをいい、講演の中で林氏は「日本では飲食費の最終消費額のうちほとんどが加工品・外食。農業により生産された作物等を加工・販売、さらには飲食サービスまで行い、それを消費者が買って、食べて、飲むことにより地域内の経済循環となり地産地消へ広がる。いきなりお店を構えることが難しければ、パザーへの出品などから始め、それが社会参加や生きがいへと繋がっていく」と語った。

参加者は「日本各地での農業と地域の繋がりアイデアがたくさん聞けてとても勉強になった」「地産地消は消費者でも取り組めることなので、自分にできることから始めたい」と感想を話した。



地域の情報へ目を向けで。 深川東高校へ出前授業

1月23日、北海道深川東高等学校生産科学科の1・2年生25名を対象に当JAおよび(株)日本農業新聞が出前授業を行った。

この取り組みは次世代の農業を担う地元の農業高校の生徒に農業やJA、地域社会への興味・関心を高めることを目的として当JAが企画したもの。

当日、農業振興部の松本定幸課長が「プラスチックと農業環境問題」と題し、プラスチック汚染の現状と課題を説明。あわせて当JAが取り組む「ライスレジン」について、食用に適さない米を使ったバイオプラスチックで米袋や名刺、食器等を製作していることも説明した。「多くの企業がバイオプラスチックの導入に取り組み、市場が拡大している。持続可能な素材としてバイオプラスチックが一般的になり環境に優しい製品が増え、皆さんの世代へ持続可能な環境を提供したい」と話した。

続いて(株)日本農業新聞北海道支所の福原亮佑氏が「農業新聞の役割と面白さ」と題し、グループワークを交えながら新聞の効率的な読み方や新聞の活かし方を説明した。普段は新聞を読まないという生徒へ「他の媒体と違い新聞は一覧性があり、興味がない内容でも自然と目に入り、様々な知識を広く知ることが出来る。まずは地方版など身近なニュースから地域に目を向けて欲しい」と新聞の良さをアピールした。

授業を聞いた生徒は「お米で米の袋や食器が作れることに驚いた。リサイクルなど自分でもできることを続けたい」「普段、新聞を読まないが大きな見出しを読むだけでも情報が分かるのはすごく良いと思う」と感想を話す。

また、同校の生徒は2月1日から29日の1か月間、農業新聞を読み、気になった記事をもとにレポート作りに取り組んだ。



大豆から豆腐へ・・・！ 一已小学校6年生が豆腐作り



深川支所

1月31日、2月2日、当JAイチヤン加工室で一已小学校6年生が豆腐と卵の花作り体験を行った。この取り組みは、一已小学校の総合学習の一環で毎年行われている。

1月31日、元イチヤン販売グループ6名の指導のもと一已小学校6年生の25名が体験を行った。児童は同学習の中で大豆の栽培から加工品づくりまでの一連の流れを体験しており、児童が昨年5月に農業センターで播種を行い、10月に脱穀作業を行った大豆（ユキホマレ）を今回の豆腐作りに使用している。

体験では、大きな釜を使用してすり潰した大豆を煮るなど、児童同士が協力しながら豆腐作りに挑戦。作業中は「本当に豆から豆腐になるのか」「にがりを入れたらなぜ固まるのか」など積極的に質問をしながら和気あいあいと体験を行った。また、完成した豆腐が見えた際には、大きな歓声が上がるなど楽しんでいる様子も見られた。

参加した児童は「豆腐づくりがこんなに大変だとは思わなかったが楽しかった」「できた豆腐が意外と大きくて驚いた。持って帰って食べるのが楽しみ」と笑顔で感想を話した。



春作業に向けて

作業衣類展示会を開催

2月5日と6日の2日間、本所資材店舗で毎年恒例の作業衣類展示会が開催され、普段は店頭にはない種類の長靴やヤッケなどが特価で並び、2日間で約90人が訪れた。

同展示会は組合員に好評で、間もなく始まる春作業に備え、田植え靴や手袋などをまとめて購入する姿が見られた。

買い物袋いっぱい購入した組合員は「いつも使う手袋や長靴が安くなっていて嬉しい」「店内一面に商品が並んでいるのでついつい目移りしてたくさん買ってしまった」と話した。

また今年は「たいやきCOCO」「光進丸」による移動販売や「わだ商事」による時計販売や腕時計の電池交換もあり大好評だった。



令和6年度 営農組合長										今年度の各地区営農組合長が決まりましたので、お知らせ致します。																					
地区名		組 合 名		氏 名		構成員				地区名		組 合 名		氏 名		構成員															
音 江	菊	丘	馬 場 章 次	7		雨 竜	南	盛	武 石 勝 智	27		雨 竜	南	盛	武 石 勝 智	27		雨 竜	南	盛	武 石 勝 智	27									
	音	江 東	谷 脇 弘 之	10			東	栄	石 橋 章 雄	16			東	栄	石 橋 章 雄	16			東	栄	石 橋 章 雄	16									
	内	園	安 村 一 稔	12	○			西	加 津 輝 明	18				西	加 津 輝 明	18				西	加 津 輝 明	18									
	音	江 中 央	澁 谷 英 夫	54			中	央	徳 光 忍	18	○		中	央	徳 光 忍	18	○		中	央	徳 光 忍	18	○								
	音	江 西	曾我部 透	36	◎		本	牧	中 野 茂 樹	30	◎		本	牧	中 野 茂 樹	30	◎		本	牧	中 野 茂 樹	30	◎								
	(音 江) 計119戸							北	友	野 原 康 文	30			(雨 竜) 計139戸																	
× ム	北	東	小 島 聡 一	15	◎	北 竜	碧	水	高 田 幸 喜	19		北 竜	碧	水	高 田 幸 喜	19		北 竜	碧	水	高 田 幸 喜	19									
	芽	生	本 山 純 司	23			岩	村	橋 本 哲	19			岩	村	橋 本 哲	19			岩	村	橋 本 哲	19									
	南	区	小 畑 幸 洋	19	○		美 葉	牛 坂 巻 裕 人	26		美 葉		牛 坂 巻 裕 人	26		美 葉	牛 坂 巻 裕 人		26												
	北	菊 水	馬 場 一 俊	13			古	作	前 田 規 文	8			古	作	前 田 規 文	8			古	作	前 田 規 文	8									
		巴	片 桐 章 晴	18			板	谷	高 畑 克 洋	18	◎		板	谷	高 畑 克 洋	18	◎		板	谷	高 畑 克 洋	18	◎								
	(× ム) 計88戸							西	川	吉 田 健	8			(北 竜) 計144戸																	
一 已	一 已 第 1	折 野 哲 也	23		一 已	北 竜	和	川 瀬 崇	13		北 竜	北 竜	和	川 瀬 崇	13		北 竜	北 竜	和	川 瀬 崇	13										
	一 已 第 2	先 名 翔 太	22				三 谷	後 藤 敦	13				三 谷	後 藤 敦	13				三 谷	後 藤 敦	13										
	一 已 第 3	清 水 雄 斗	19				恵 竜	廣 瀬 一 真	20	○			恵 竜	廣 瀬 一 真	20	○			恵 竜	廣 瀬 一 真	20	○									
	一 已 第 4	原 田 純	25	◎			(北 竜) 計144戸							(北 竜) 計144戸																	
	一 已 第 5	岡 部 一 郎	22	○			幌 加 内	幌 加 内	南	幌			加 藤 一 広	27		幌 加 内			幌 加 内	南	幌	加 藤 一 広	27		幌 加 内	幌 加 内	南	幌	加 藤 一 広	27	
	一 已 第 6	横 井 優 司	26	○					幌	中			蔵 前 文 彦	28						幌	中	蔵 前 文 彦	28				幌	中	蔵 前 文 彦	28	
納 内	納	内	庄 司 俊 光	63	◎	幌 加 内	幌 加 内	幌	里	平 野 利 幸	23	◎	幌 加 内	幌 加 内	幌	里	平 野 利 幸	23	◎	幌 加 内	幌 加 内	幌	里	平 野 利 幸	23	◎					
	(納 内) 計63戸								北	幌	福 田 裕 弘	13			○	(幌加内) 計91戸															
多度志	多 度 志 南	竹 内 誠	39	○	多度志	多度志	多 度 志 北	光 富 靖 展	33	◎	多度志	多度志	多 度 志 北	光 富 靖 展	33	◎	多度志	多度志	多 度 志 北	光 富 靖 展	33	◎	多度志	多度志	多 度 志 北	光 富 靖 展	33	◎			
	(多度志) 計72戸							(幌加内) 計91戸																							

◎印は営農組合長連絡協議会代表者です。 営農組合数 38組合 営農組合戸数 853戸
○印は営農組合長連絡協議会副代表者です。

■■

きたそらち農業教育振興基金 収支報告書

■■

篤志者の寄付等からの積立てによって造成されている当ＪＡ農業教育振興基金は、令和6年1月末残高は 9,850,333円となっています。
今後においても当ＪＡ組合員教育の実施や地域農業振興のため、優れた農業者の育成を目的として活用させていただきます。

自：令和5年2月1日～至：令和6年1月31日

【収 入】	項 目	金 額	摘 要
	繰越金	9,850,251	令和5年1月31日残高
	その他（貯金利息）	82	
	収入合計	9,850,333	
【支 出】	項 目	金 額	摘 要
	農業後継者、新規就農者 育成研修助成	0	本年度該当なし
	支出合計	0	
差引残高		9,850,333	

営業時間変更のお知らせ

【金融共済部】

4月からATMの稼働時間が下記の通りとなります。

	ATM稼働時間（4月1日～10月31日）		
	平 日	土曜日	日曜日・祝日
イ チ ヤ ン 本 所	9:00 ～ 18:00	9:00 ～ 17:00	9:00 ～ 17:00
金 融 共 済 深 川 支 所		9:00 ～ 12:00	稼働しません
金 融 共 済 音 江 支 所	9:00 ～ 17:30		
金 融 共 済 納 内 支 所			
金 融 共 済 多 度 志 支 所			
金 融 共 済 雨 竜 支 所	9:00 ～ 18:00	9:00 ～ 12:00	
金 融 共 済 北 竜 支 所			
北 竜 町COCOWA			
金 融 共 済 幌 加 内 支 所	9:00 ～ 17:30		

※各店舗（窓口）の営業時間は

＜イチヤン本所、深川支所、雨竜支所、北竜支所、幌加内支所＞平日9:00～16:00

＜音江支所、納内支所、多度志支所＞

平日（午前の部）9:00～11:30（午後の部）12:30～16:00

（11:30～12:30は昼休み（窓口閉鎖）とさせていただきます）

※祝日の影響により営業を休止させていただく場合がございます。

※くわしくは下記までお問合せください。

金融共済イチヤン本所 TEL:0164-22-6618



【経済部 燃料課】

4月からSSの営業時間が下記の通りとなります。

SS営業時間（4月1日～10月31日）		
セルフ	音 江	7:30～19:00
	深 川	
	イチヤン	
フ ル	納 内	8:00～18:00
	多度志	
	北 竜	
	幌加内	

※燃料配送・ガスなどのお問い合わせは下記

までご連絡お願い致します

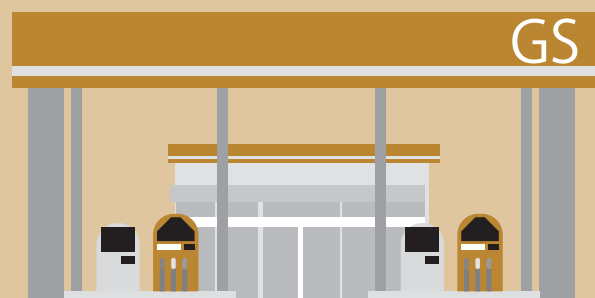
配送センター

TEL:0164-22-7171

【資材店舗】

4月から資材店舗の営業時間が下記の通りとなります。

資材店舗営業時間（4月1日～10月31日）		
	平 日	土 曜
本 所	8:00～17:00	8:00～12:00
雨竜・北竜・幌加内	8:30～17:00	8:30～12:00





深川支所 営農課



斉藤 基 課長からのコメント

「この政策ってどうなの?」「作物の葉っぱがなんか変」等の日々発生する素朴な疑問、変化を発見した際は、地区担当者へすぐにお声がけ下さい。

組合員皆様の目標とする営農の実現に向けて、個々の提案や情報提供を致します。

後列左から▶畠中将希、松本隆史、戸嶋凌太、石野泰誠、荒井悠志、渡辺理久

前列左から▶藤井静代、正田佳子主査、渡辺康貴考査役、松山登志生支所長、斉藤基課長、吉田拓哉主査、松原幸恵



深川支所 深川米穀施設課



上月 洋 課長からのコメント

深川地区のお米の集荷、乾燥・調製を行う業務を担当しています。組合員の皆さまから出荷して頂いた大切な「安心・安全なお米」を秋シーズンや、今摺りというかたちで2回にわたり調製を行っています。

当施設にて「ふかがわまい」の魅力を消費者へ届ける為に、丁寧に調製して出荷しています。これからも組合員のみなさんの沢山の御出荷を頂けるよう、信頼される施設として努めてまいります。

後列左から▶小島和也、三村佳久、霜山和敏、吉田修二郎

前列左から▶板見秀二、松山登志生支所長、上月洋課長



幌加内支所 営農課



前田 真作之 課長からのコメント

幌加内地区の水稻・畑作・畜産にかかわる生産支援や農産物の集荷・保管・精算等を担当しています。生産者が努力を重ね築き上げてきたブランド「幌加内そば」のPR活動や地域活性化にむけた取り組みなど積極的に活動しています。これからも組合員の皆さんや地域の方々に頼っていただける部署となるよう頑張ります。

後列左から▶北村政子、大月充士、下津竜次、墓田準也主査、嶺岸智也

前列左から▶小野齊考査役、前田真作之課長、小野寺栄治支所長、岩本貴誉恵主査

読者の感想

1月号に寄せられたコメントを紹介!

当広報誌のクロスワードクイズへご応募頂いた、読者の皆様の「身近な出来事」「広報誌への感想」をご紹介します。ご応募ありがとうございました!

表紙の2024年の挨拶、ついこの前見たような…。一年経つのが早いです。皆さん笑顔がいいですね、若い24歳いい時ですね。

今は札幌に住んでいるのでネットで見ています。故郷の深川の様子がわかって嬉しいです。

ホームページから拝見しましたが、愛知県からJAきたそらちさんの情報を見れるのは、旅行に行った気分になれて嬉しいです。これからも応援します。

農家戸数も減り、肥料・燃料価格の高騰で大変な時代ですが、なんとか農業を維持して頂きたいと思っています。

12月末、家の裏にアライグマが出ました。アライグマは冬眠しないのかな…?



令和5年度 JAきたそらち太陽光発電所 収支報告 (単位:千円)

項 目	5年度実績	計画対比		前年実績対比		備 考
	金 額	計 画	対 比	金 額	対 比	
R5年度発電収入 ①	20,395	16,697	3,698	22,177	△ 1,782	R4.12~R5.11発電分
減価償却費	7,069	6,592	477	7,532	△ 463	
償却資産税	655	655	0	751	△ 95	
電気事業税	0	0	0	0	0	
借入金利息	0	761	△ 761	0	0	
その他諸費用	1,607	2,348	△ 740	1,328	278	点検費、保険費用、管理費
支出合計 ②	9,332	10,357	△ 1,025	9,612	△ 279	
収 支 ① - ②	11,063	6,340	4,723	12,565	△ 1,502	



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和6年1月実績

○累計 (R5.12~R6.11)

発電電力 **15,888kWh**

発電電力 **25,565kWh**

計画対比 +8,299kWh

計画対比 +5,121kWh

前年対比 +6,531kWh

前年対比 +7,021kWh

1月売電金額 635,520円 (40円/kwh)

金融共済部からのお知らせ

お客様各位

きたそらち農業協同組合

JAバンク提携ATMのご利用手数料の改定について

日頃よりJAバンクをご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、令和6年4月1日より、提携ATM各社（ローソン銀行、イーネット）のATM利用に係る手数料を改定しますので、下記の通りお知らせいたします。

なお、今回の改定に伴う当JAのATMや、他の提携ATMのご利用手数料に変更はございません。

今後もお客さまにご満足いただける商品・サービスの提供に努めてまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

1 改定日

令和6年4月1日（土）



2 改定内容

提携先	ご利用日	ご利用時間	ご利用手数料（税込）	
			改定前	改定後
ローソン銀行 イーネット	平日	8：45～18：00	0円	<u>110円</u>
		その他の時間帯	110円	<u>220円</u>
	土曜日	9：00～14：00	0円	<u>110円</u>
		その他の時間帯	110円	<u>220円</u>
	日曜・祝日	終日	110円	<u>220円</u>

※ローソン銀行：ローソンに設置しているコンビニATM

※イーネット：セイコーマート・ファミリーマート・サークルKサンクスなどに設置しているコンビニATM

以上

自然災害に備える

住宅や家財の**保障**にはJAの

建物更生共済

むてきプラス

地震・台風などの
自然災害・火災等に
確かな保障で確かな備えを

平成30年 台風21号

北海道胆振東部地震

平成28年 台風



がんばろう
北海道
JA共済



JA共済



金融共済部からのお知らせ



建物更生共済

いえの保障



地震、火災、台風まで。家の安心を、これひとつで。

火災はもちろん、
台風や地震などの
自然災害もしっかり保障します！



満期のときには、
満期共済金が
受け取れます！



自然災害にも確かな保障

建物更生共済は、大規模自然災害においても確かな保障をお届けしています。

最近の主な
お支払い例

平成30年
胆振東部地震
5,207件／
85億1,228万円

主な被災地区: 石狩、後志、胆振、日高、空知
※JA共済連北海道調べ(令和5年2月28日現在)

平成30年
台風21号
3,000件／
26億7,149万円

主な被災地区: 石狩、後志、渡島、檜山、空知
※JA共済連北海道調べ(令和5年2月28日現在)

東日本大震災
685,695件／
9,383億円

※JA共済連北海道調べ(令和5年3月10日現在)

ご契約例

●共済の対象:建物(協定共済価額1,500万円) ●保障期間(共済期間10年:継続回数2回)…30年
●臨時費用共済金の支払割合30% ●実損てん補特約付 ●火災共済金額…1,500万円 ●満期共済金額…50万円

火災・台風のとき	損害の額 + 臨時費用共済金 特別費用共済金 残存物とリカバリー費用共済金
地震のとき	750万円 × 損害割合 ※支払われる共済金は、損害の額の50%が限度です。
ケガ・死亡されたとき	傷害共済金
満期のとき	50万円 + 割りもどし金

●満期共済金は継続回数を継続したあとのご契約の共済期間が満了した際にお支払いします。
●共済期間は5年と10年が選べ、継続特約の付加により最長30年間の保障が可能です。
●割りもどし金は、ご契約後7年目から5年ごとおよび満期時に受け取れますが、その程度変動し、経済情勢などによっては0となる場合もあります。
※各種共済金のお支払いについては所定の条件があります。

このご契約例の共済掛金

住宅物件・口座振替扱い 単位:円(令和5年4月1日現在)

	年払い	月払い
本連・防火連		
当初10年間	81,725	6,981
1回継続後	75,897	6,484
2回継続後	74,998	6,407
耐火連B・C		
当初10年間	53,459	4,566
1回継続後	49,000	4,191
2回継続後	48,120	4,116
耐火連A		
当初10年間	43,907	3,756
1回継続後	39,964	3,412
2回継続後	39,091	3,338

継続特約を付加し、保障期間が20年、30年となる場合、継続後の共済掛金は継続時の共済掛金率で計算いたしますので、継続の時に共済掛金が変更となる可能性があります。

物件の種類によって、共済掛金が異なります。

建物更生共済むてきプラスには、
家財を保障の対象とするプラン「My家財プラス」もあります。

●この広告は概要を説明したものです。ご契約の際には「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。
●ご加入にあたりましては、お近くのJA(農協)へお問い合わせください。 ■JA共済ホームページアドレス <http://www.ja-kyosai.or.jp>

お問い合わせは

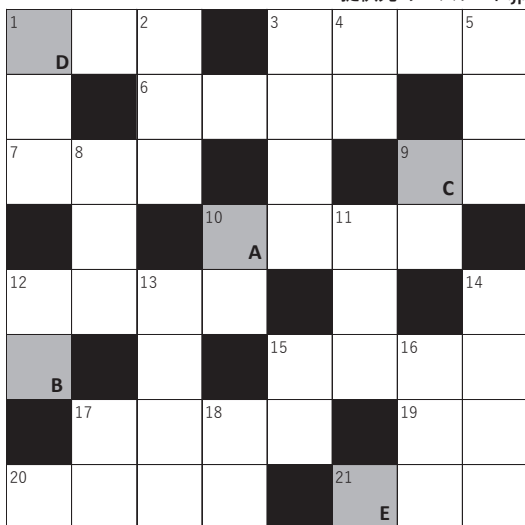


本 所 TEL 0164-22-6619 多度志支所 TEL 0164-27-2111
音江支所 TEL 0164-25-1111 雨 竜 支 所 TEL 0125-77-2331
深川支所 TEL 0164-22-2171 北 竜 支 所 TEL 0164-34-2280
納内支所 TEL 0164-24-2211 幌加内支所 TEL 0165-35-2024

[23019990068]

クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



A	B	C	D	E

1月号の正解は

「ハツヒノデ」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深 川 市 菊 入 三 恵 様
深 川 市 齊 藤 太 香 詞 様
札 幌 市 佐 藤 友 加 様

【タテのカギ】

- 1 砂漠にすみ、背中に一つか二つのこぶがある動物。
- 2 地球の北極点・南極点を結ぶ直線。自転軸。
- 3 毎年定期的に支給される定額の金銭。「国民○○○○」「厚生○○○○」
- 4 金属が空気や水に触れて、その表面にできる酸化物。
- 5 実が赤色の丸い果物。Apple
- 8 病気の診察や診療を職業にする人。医師。ドクター。
- 9 煮た汁の表面に浮き出る白く濁ったもの。「スープの○○をとる」
- 10 ももとすねをつなぐ、足を曲げる関節の前の部分。
- 11 限られた地域・範囲・時間の中に集中しすぎていること。「○○なスケジュール」
- 12 植物がくきの先で咲かせるもの。「○○が咲く」「○○言葉」
- 13 自分の思うままにすること。身勝手。「○○○○を言う」
- 14 今年の次の年
- 15 仕事を仕上げるのに必要な時間や手数。「○○がかかる」
- 16 行き詰った状態を切り開いて解決に導くこと「○○○策」
- 17 空の上。「○○日干し」「○○高く舞う」
- 18 日の出から日の入りまでの間。正午、または正午過ぎ

【ヨコのカギ】

- 1 昼食。洋風の手軽な定食。
- 3 物の値段が安くなること
- 6 物事をすぐやれるよう、支度をすること。用意すること。
- 7 材木を使って家を建てたり、直したりする人。
- 9 □の上下の物を噛むときなどに使う器官。「上○○」
- 10 その人や物から感じられる品のよさ。品位。
- 12 すばやくて巧みなわざ。すばやい動作。
- 15 手伝えること。また、その人。
- 17 労力と時間。「○○○○をかける」「○○○○を惜しまない」
- 19 物の売り買いに使われる物。金属。
- 20 完全に丸いこと。
- 21 雨を英語で。「○○○コート」

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。

締切3月31日消印有効で当選者とクイズの答えは令和6年5月号に掲載します。

【送り先】〒074-0015 深川市深川町字メム10号線山3線5850番地

JAきたそらち農業振興部営農企画課 FAXの場合は 0164-22-1228

【ホームページ応募フォーム】URL: http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。



二月俳句

●雨電俳句会

初春や枝葉の光る東窓
初鏡りや声につられて高値つく
新年や赤ら顔して日を愛しむ
初笑賄賂と書いたばち袋
初鏡薄紅さして古希の朝

●「道」俳句会 北電支部

空知野の春司どるダムの息
大寒や電波時計の針無音
節分や年追うごとの生きづらさ
遠吠えや耽耽と凍つ夜行の灯
一筆の墨が生み出す冬の山
豆を撒く角一本の鬼の帽
母遠し今年も咲いた冬椿
三家族大鍋囲む雪の暮

●土筆俳句会

何もかも忘れたき日や雪五尺
向う岸歩く人なし冬の川
梅の花紅白揃え応接間
甥逝くやバレンタインに愛されて
横文字の操作に惑う雪の朝
四号車時刻通りに春を行く
書き添える春遠からじ思い込め
改札の北風背にし父立てり
年始酒道産ワイン飲み比べ
冬銀河眠る老い猫独語する

高尾美津子
池田 美知
山川 輝子
南川富美子
佐藤英三子
滝口富美子
菅原 優子
森田裕美子
沼田留美子
小橋 厚子

山本 玲子
山岸 正俊
吉尾 広子
阿部れい子
山下 好晴
中島 雅子
宮脇美和子
佐藤美智子

北川 満江
小山 邦男
松木 五月
宮武めぐみ
吉見サヨ子

第14回理事会 〈令和6年1月26日開催〉 以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 内部監査報告について
3. 組合員の加入脱退について
4. 12月末推定決算について
5. 財務報告及び事業実績について
6. 固定資産の修繕について
7. 職員の人事及び業務事故について
8. 貸出金の貸付報告について
9. クミカン精算状況について
10. 遅延損害金の減免について
11. 令和5年度補正「担い手確保・経営強化支援事業」採択結果について
12. 環境負荷低減のクロスコンプライアンス導入について

- 議案第1号 北海道常例検査の検査結果について
 議案第2号 組合員の出資金持分譲渡について
 議案第3号 令和6年度経営定期点検の実施計画について
 議案第4号 雨竜支所粕仮置き倉庫建設について
 議案第5号 ファックス管理規程の一部改正について
 議案第6号 経理規程の一部改正について
 議案第7号 財務管理規程の一部改正について
 議案第8号 情報システム運用管理規程の一部改正について

1. 令和6年度役員報酬審議会への諮問について

13. 災害発生時等にかかる仮設テントの取得について
14. 令和5年12月営農懇談会意見・質問について
15. うち米、水田活用米穀を巡る情勢について
16. 米在庫状況について
17. 販売未収金について
18. 畜産物の販売実績（12月末）について
19. 令和5年度 畜産大口取引対策費について
20. 青果・花き集荷販売実績について
21. R6年度農薬価格設定について
22. 肥料・温材奨励金の支払いについて
23. 経済部事業実績について

- 議案第9号 組合員規程の一部改正について
 議案第10号 文書管理規程の一部改正について
 議案第11号 職員の期末手当の支給について
 議案第12号 資産査定要領の一部改正について
 議案第13号 貸出金の貸付について
 議案第14号 理事に対する貸出承認について
 議案第15号 固定資産の取得について
 議案第16号 組合員の出資金減額について（令和5年度下期）

組合員の動き

（令和6年1月末日）

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,250	7	47	1,210
	団体	102	5	0	107
准組合員	個人	5,477	80	64	5,493
	団体	271	6	0	277
正組合員戸数		893	2	31	864

農業振興部からのお知らせ

令和6年度 第4期生

JAきたそらち

《1年制》

女性大学「カレッジあみていえ」

受講募集します!!

1年間楽しみながら学ぶ「カレッジあみていえ」4期生を募集します。自分磨きや仲間づくり、役立つ講座があなたを待っています。過去に女性大学を受講されていた方も、再度受講いただけます。お気軽にご参加ください。

受講カリキュラム(予定)

R6年	4月22日(月)	入学式
6月		JAきたそらち産稲わら・白樺雑貨づくり
7月		野菜講習会
8月		JAきたそらち施設ツアー (日帰り研修)
10月		給食センター見学、健康体操
12月		JAきたそらち産大豆 豆腐作り
R7年	2月	講演会
3月		卒業式



開校にあたって

JAきたそらち女性大学は、管内の女性が「食と農」「暮らし」「文化」「環境」などの学習を通じて知識や技術を高め、自分磨きや新たな仲間づくり、心豊かな地域づくりを深めていただく事を目的としています。

期間は1年制となっております。有意義なお時間をお過ごしください。

きたそらち農業協同組合 代表理事組合長 岩田 清正

募集人数 20名

募集期間 令和6年3月1日(金)～令和6年3月15日(金)まで

基本受講料 5,000円/年 ※講座により年間基本受講料とは別に自己負担があります。

入学資格 ● 深川市、雨竜町、北竜町、幌加内町にお住まいの20歳以上の女性
● JAきたそらちの正組合員またはそのご家族、もしくは准組合員の方
(組合員以外の方は、お近くのJAきたそらち貯金窓口又は本所にて准組合員への加入をお願いいたします。出資金として500円からお預かりいたします。)

お申し込み先

JAきたそらち農業振興部営農企画課 担当:石野

TEL: 0164-26-0134 FAX: 0164-22-1228

応募方法 ①左のQRコードを読み取って申し込み
②裏面の入学申込書をJAにFAX・郵送(3月15日までにJA必着)
③電話での申し込み

ご不明な点などがございましたら、お気軽にお問い合わせください。



スマートフォンからの申し込みはこちら